

システム構成/環境構築ガイド　　　　（Ansible driver編）

astrollシステム 環境構築マニュアル

－第1.0版－

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

* LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
* Oracle、MySQLは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
* MariaDBは、MariaDB Foundationの登録商標または商標です。
* Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

astrollの正式名称は「astroll IT Automation」になります。

目次

[1 はじめに 3](#_Toc488681229)

[2 機能 4](#_Toc488681230)

[3 システム構成 4](#_Toc488681231)

[4 システム要件 5](#_Toc488681232)

[5 Ansible driver － Ansible RestAPI 共有ディレクトリ準備 5](#_Toc488681233)

# はじめに

本書では、astrollでAnsibleオプション機能（以下、Ansible driver）として運用する為のシステム構成と環境構築について説明します。

astroll Ansible driverを利用するにあたっては、astroll基本機能が構築済であることが前提です。astroll基本機能の構築に関しては、「環境構築ガイド（基本編）」をご覧ください。

　・astroll基本機能

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| マニュアル  項目 | ファースト  ステップガイド | インストール マニュアル | コンフィグレーション ガイド | システム構成/ 環境構築ガイド | 利用手順 マニュアル | メニュー作成ガイド | リファレンス マニュアル | サイジング ガイド |
| システム構成 | ○ |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| サイジング |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |
| 動作環境（インストール前） | ○ |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| インストール |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |
| コンフィグレーション |  |  | ◎ |  |  |  |  |  |
| 利用手順 | ○ |  |  |  | ◎ |  |  |  |
| メニュー作成 |  |  |  |  |  | ◎ |  |  |
| リファレンス |  |  |  |  |  |  | ◎ |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※○：概要説明　◎：詳細説明

・オプション機能

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| マニュアル  項目 | ファースト  ステップガイド | インストール  マニュアル | コンフィグレーション ガイド | システム構成/ 環境構築ガイド | 利用手順  マニュアル | メニュー作成ガイド | リファレンス マニュアル | サイジング ガイド |
| システム構成 |  |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| サイジング |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 動作環境（インストール前） |  |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| インストール |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |
| コンフィグレーション |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 利用手順 |  |  |  |  | ◎ |  |  |  |
| メニュー作成 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| リファレンス |  |  |  |  |  |  |  |  |

※○：概要説明　◎：詳細説明

# 機能

Ansible driverは以下の機能を提供します。

表 1 機能名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 機能名 | 用途 | WEB  コンテンツ | BackYard  コンテンツ |
| 1 | Ansible driver | astrollからサーバ、ストレージ、ネットワーク機器の構成管理を行う | ○ | ○ |
| 2 | Ansible RestAPI | Ansibleを外部から操作するためのRestAPIを提供するコンテンツ | ○ | － |

# システム構成

Ansible driverのシステム構成は、astrollシステムと同じです。

Ansible RestAPIについては、Ansible driverとは別にAnsible専用サーバを用意する構成が考えられます。

(一つのサーバにコンソリデーションする構成も可能です。)

ここでは、astrollシステムの推奨構成であるバランスHA型にAnsible RestAPIサーバを付加した構成を図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「環境構築ガイド（基本編）」を参照してください。

Ansible RestAPI

Ansibleサーバ

**AnsibleAPI**

**機能**

Ansible

astrollシステム/Ansible driver

Webサーバ [ACT]

Webサーバ [ACT]

Web

機能

Webサーバ [ACT]

DB接続情報

**Ansible**

**driver**

ロードバランサー

AP/DBサーバ [SBY]

BackYard

機能

AP/DBサーバ [ACT]

DB

セッション

管理

アップロード

ファイル

DB接続情報

DBMS

構成対象機器

NW機器

サーバ

ストレージ

**Ansible**

**driver**

外部設置データ

# システム要件

Ansible driver はastrollシステムのシステム要件に準拠するため、「環境構築ガイド（基本編）」を参照してください。ここではBackYard、Ansible RestAPIの必要要件を記載します。

●BackYard

表 4-1.Ansible BackYardシステム要件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** | **注意事項** |
| PHP | 5.6 |  |

表 4-2.Ansible BackYard必要Linuxコマンド

|  |  |
| --- | --- |
| **コマンド** | **注意事項** |
| zip |  |

表 4-3.Ansible BackYard必要外部モジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **外部ﾓｼﾞｭｰﾙ** | **バージョン** | **注意事項** |
| Spyc.php | 0.6.2 |  |

●Ansible RestAPI

表 4-4 Ansible RestAPI システム要件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** | **注意事項** |
| Ansible | 2.0 以上 | 1.9.xをご使用の場合は、playbookの書き方にご注意ください。 |
| Python | 2.6 以上 |  |
| pywinrm |  | Pythonモジュールです。Yumでインストールできない場合、pipを使用してインストールしてください。 |
| Pexpect |  | Pythonモジュールです。 |
| telnet | － | 構成対象にtelnet接続する場合に必要です。 |
| Apache | 2.2系 / 2.4系 | astrollシステムと異なるサーバで運用の場合に必要です。  パッケージ/バージョンはastrollシステムサーバに合わせてください。 |
| Nginx | 1.9.ｘ |

表 4-5 Ansible Driver必要Linuxコマンド

|  |  |
| --- | --- |
| **コマンド** | **注意事項** |
| expect |  |

# Ansible driver － Ansible RestAPI 共有ディレクトリ準備

Ansible driverとAnsible RestAPIが共通で参照するディレクトリを準備してください。

Ansible driverおよび Ansible RestAPIインストール後、この共有ディレクトリをastrollシステムに登録する必要があります。「システムリファレンスマニュアル（Ansible driver）」の「インターフェース情報」を参照し、登録を行ってください。